

(2)大会の動向

西暦	年号	月	大会の動き	競技会場・聖火リレー等	区の主な取組
2013	平成25	9	2020年東京開催決定 東京都大会準備会議設置(都)		オリパラ本部会設置
2014	平成26	1	大会組織委員会設立		
		2	ソチ冬季オリ・パラ大会開催		
		4			都オリ局1名派遣
		10	大会ビジョン骨子発表		
2015	平成27	2	大会開催基本計画発表	オリンピック18競技会場決定 ※1	
		3			大田スタジアムに係る要望書提出①
					都オリ局1名派遣
		4			アクションプログラム開始
					トップアスリート派遣事業開始
		9	オリンピック追加提案種目決定	ホッケー会場等の配置計画変更	ホッケー競技:区内開催決定
		10			大田スタジアムに係る要望書提出②
					事前キャンプ誘致方針決定
2016	平成28	4	大会エンブレム決定		都オリ局1名派遣、組織委員会1名派遣
					ホッケー・パラ体験会事業開始
		5			ブラジルオリンピック委員会と折衝開始
					女子ソフトボールリーグ招致
		8	オリンピック追加種目決定 リオ夏季オリ・パラ大会開催		区ゆかり選手(3選手)応援
		10		フラッグツアー開始(都内自治体等巡回)	
					追加種目の会場決定
2017	平成29	1			フラッグツアー(成人のつどい)
		2		メダルプロジェクト(小型家電回収)開始	
		4			都オリ局1名派遣、組織委員会5名派遣
		5	開催都市契約発表		メダルプロジェクト参画
		6	オリンピック全種目決定		ブラジルオリンピック委員会と事前キャンプ覚書締結
		7		東京五輪音頭-2020-発表	
		10			大会1000日前イベント開催
		12	大会マスコット投票(全国小学生)		大会マスコット投票参画 ブラジルホストタウン登録(内閣官房)
2018	平成30	2	平昌冬季オリ・パラ大会開催 大会マスコットデザイン決定		
		4		オリ聖火リレーコンセプト発表	都オリ局1名派遣、組織委員会8名派遣
		5	東京2020大会全ての競技会場決定		
		6			ブラジル男子ハンドボール合宿
		7		オリ聖火リレー都道府県日程等発表	大会2年前イベント開催
		8	テストイベント開始(順次)		
		9	都市ボラ、大会ボラ募集開始		ウエルカムボランティア募集開始
		12		パラ聖火リレーコンセプト発表	
2019	平成31	1		聖火リレーエンブレム、トーチ等発表	
		3			大会500日前イベント開催
		4	アクションプラン(混雑緩和等)とりまとめ	東京2020ライブサイト等基本計画公表	都オリ局1名派遣、組織委員会9名派遣
	令和元	5	大会観戦チケット申込開始		
		6		オリ聖火リレー都内巡回順等決定	大会1年前イベント開催
		7		オリ聖火ランナー(都内)募集開始	
		8	大井ホッケー競技場完成披露式典 ホッケーテストイベント実施		ホッケーテストイベント区民観戦 ボラ追加募集、高校生ボラ募集開始
		9	ラグビーWorld Cup開催		ブラジル男子バレーボール合宿
		11		パラ聖火ルート(都内)概要公表	ブラジル女子ハンドボール合宿、ボラ活動
		12		オリ聖火ルート(都内)詳細公表 パラ聖火ランナー(都内)募集開始 オリ聖火ランナー(都内)公表(順次)	
2020	令和2	2			大会200日前イベント開催
		3	大会の概ね1年程度延期決定 新たな開催日程決定	聖火採火式(ギリシャ)・到着式(東松島) 聖火リレー延期決定	
		4			都オリ局1名派遣、組織委員会9名派遣
		7	競技スケジュール公表		オリンピック1年前展示
		8			パラリンピック1年前展示
		9	大会におけるコロナ対策調整会議発足	聖火リレー概要公表	
		12	コロナ対策中間整理公表		大会関連展示キャラバン開始 高校生ボラ追加募集
2021	令和3	2	コロナ対策をまとめたプレイブック(初版)公表		
		3		オリ聖火ルート(都内)詳細再公表	聖火リレーボラ募集開始
		4			都オリ局1名派遣、組織委員会8名派遣 気運醸成、共生社会理解促進動画放映 本庁舎装飾、グランデュオパナー掲出等
		5		パラ聖火ルート(都内)詳細再公表	事前キャンプ受入マニュアル作成
		6	ライブサイト中止決定(東京都)		ライブサイト等中止決定
			オリンピック無観客開催決定	オリ聖火リレー(都内)公道走行中止発表	聖火リレー関連事業中止決定
		7	オリンピック開幕	オリ聖火リレー点火セレモニー実施	ブラジル事前キャンプ受入、ボラ活動 本庁舎等展示開始
		8	パラリンピック無観客開催決定 パラリンピック開幕	パラ聖火リレー(都内)公道走行中止発表 パラ聖火リレー点火セレモニー実施	種火の採火(平和の森公園) 採火器具と「大田区の火」展示、動画配信 読響コンサート動画配信

※1,2: 競技会場毎に順次、IOCの承認を経て決定

1. 概要

平成29年6月、ブラジルオリンピック委員会と東京2020大会の事前キャンプに係る覚書を締結し、平成30年には男子バレーボール、令和元年には男子バレーボールと女子ハンドボールの各チームの合宿を受け入れた。合宿期間中は、公開練習やブラジル選手による学校訪問など交流を通じて区民の国際意識が醸成されるよう取り組んだ。

東京2020大会では、新型コロナの影響により、6競技の事前キャンプをボランティアや各施設スタッフ等と連携して受け入れ、選手のメダル獲得に向けた活動をサポートした。

2. 主な取り組み

年度	主な取組内容
平成 27 年	事前キャンプ誘致ツール (PV、冊子) 製作
平成 28 年	ブラジルオリンピック委員会視察受入れ
平成 29 年	東京2020大会事前キャンプ覚書締結、ホストタウン登録
平成 30 年	男子ハンドボール合宿受入れ、ブラジル文化体験 (6件)、小中学校でブラジル料理の給食を提供 (35校)
令和元年	男子バレーボール・女子ハンドボール合宿受入れ、東京2020大会事前キャンプ協定締結、ブラジル文化体験 (14件)、ブラジルユーススクールゲームに中学生派遣
令和2年	事前キャンプ変更協定締結、ブラジル応援メッセージ動画製作
令和3年	東京2020大会事前キャンプ受入れ (6競技)、ホストタウン記念切手販売 (日本郵便局)、ホストタウン展示 (JR 蒲田駅)



協定書締結 (左: ラ・ポルタ副会長)

ブラジル応援メッセージ動画

● ホストタウン交流

区民がブラジル事前キャンプに関心を持ち、応援する気運及び国際意識の醸成に向けて、ブラジルチームが来日した際の区民交流に加えて、学校や特別出張所等と連携し、ブラジル文化への理解を深める授業や体験会を実施した。



学校でのカポエイラ体験

● 各競技の合宿受入れ (平成30年、令和元年)

(1) 男子ハンドボール合宿

- ・期間: 平成30年6月28日~7月6日 ・場所: 大森スポーツセンター
- ・日本代表と国際親善試合 (来場者約900人)、学校訪問 (石川台中他3校)、競技者講習会 (御園中、日体荏原高校他2校)

(2) 男子バレーボール合宿

- ・期間: 令和元年9月26日~28日 ・場所: 大田区総合体育館
- ・公開練習 (来場者約600人)、フォトセッション

(3) 女子ハンドボール合宿

- ・期間: 令和元年11月20日~28日 ・場所: 大森スポーツセンター
- ・歓迎セレモニー (日本文化体験)、公開練習 (来場者約120人)、競技者講習会 (御園中)、学校訪問 (大森第五小学校)、テストイベント観戦 (約300人)

● 東京2020大会における事前キャンプ受入れ (令和3年)

競技	練習施設	期間	人数	成績
男子バレーボール	大田区総合体育館	7.14~7.21	24	4位
ボクシング		7.12~7.22	16	金1、銀1、銅1他
ハンドボール	大森スポーツセンター	7.13~8.1	46	予選ラウンド敗退
レスリング		7.20~7.29	8	1回戦敗退
テコンドー	大田区青少年交流センター	7.15~7.22	11	準々決勝敗退 他
ビーチバレーボール	大森東水辺スポーツ広場	7.13~7.23	23	準々決勝敗退 他

- ・宿泊: 大田区青少年交流センター、マイステイズプレミア大森
- ・交流: オンライン交流 (大森第六中、大森第十中他2校)
- ・コロナ対策: 受入れマニュアル作成、PCR検査、行動管理、区民等との動線分離
- ・その他: ハンドボール女子代表は日本代表と練習試合を実施



男子ハンドボールチーム国際親善試合 (2018年)



男子バレーボールチーム公開練習 (2019年)



ビーチバレーボールチーム練習 (2020年)



男子ハンドボールチーム国際親善試合 (2018年)



女子ハンドボールチーム歓迎セレモニー (2019年)



テコンドーチーム練習 (2020年)



男子ハンドボールチーム学校訪問 (2018年)



女子ハンドボールチーム日本文化体験 (2019年)



ゆいっつ：宿泊・食事拠点 (2020年)

1. 概要

平成30年3月、東京2020大会を契機に国内外から来訪する観戦客やブラジル選手団を区民とともにおもてなしするため、区独自のボランティア事業を行うこととした。

ボランティアに関心のある人材を掘り起こし、また一定の語学力を持った人材が活躍する機会を創出することで、区民のボランティアマインドを醸成し、大会後も自主的にボランティア活動に参加することを目指して取り組んだ。

● 活動内容

- ・観光分野：区内鉄道駅等での交通案内や観光紹介
- ・スポーツ分野：ブラジル事前キャンプやスポーツイベントの運営補助
- ・国際交流分野：観光、スポーツの各場面における通訳
- ・高校生ボランティア：ブラジル事前キャンプやスポーツイベントの運営補助

● 登録者数(令和3年7月23日時点)

- ・観光分野 72人 ・国際交流(観光分野) 26人
- ・スポーツ分野 138人 ・国際交流(スポーツ)分野 86人
- ・高校生 137人 【合計】459人 ※辞退者約150人

2. 主な取り組み

年度	取り組み事項
平成29年	活動内容・日数、人数規模等基本的方針を決定
平成30年	ボランティアミーティング(大会2年前イベント)、一次募集・選考(約300人)、基礎研修、救命講習、ボランティアユニフォームデザイン案公募
令和元年	二次募集・選考(約150人)、高校生ボランティア募集(約50人)、分野別研修(一次募集分)、分野別研修(二次募集分)、アフター研修(合同)、試験的活動(観光：京急蒲田駅やJR蒲田駅等、スポーツ：ブラジル合宿、ホッケー教室等)
令和2年	高校生ボランティア追加募集(約110人)、メールマガジン配信(9回)、ブラジル応援動画参加
令和3年	ブラジル事前キャンプ従事(延べ約300人) ※観光は大会無観客に伴い中止

● 平成30年から令和2年までの活動

(1) ボランティアミーティング

- ・開催日：平成30年7月27日
- ・内容：①講演会 田口亜希(パラリンピアン)
②ゲスト挨拶 モエマ・ラモス(COB)
③区ボランティア事業概要説明
- ・参加者：約300人



ボランティアミーティングの様子

(2) ボランティアユニフォームデザイン案公募

- ・期間：平成30年11月30日～平成31年1月25日
- ・応募総数：約500点



ボランティアユニフォーム表彰式

(3) 試験的活動(令和元年)

【スポーツ】

- ーブラジル男子バレーボール合宿
・9月26日～28日 ・練習・食事補助
- ーブラジル女子ハンドボール合宿
・11月20日～28日 ・練習・食事・歓迎式典補助、学校訪問通訳等
- ーその他：ホッケー教室運営補助、ホッケーテストイベント受付対応

【観光】

- ーJR蒲田駅、京急蒲田駅内の特設ブースで観光案内(7日間)
- ー大蒲田まつり&1年前イベント、おた商い観光展で観光案内(3日間)

● 東京2020大会時の活動

- ・期間：7月5日～8月9日
- ・施設：大田区青少年交流センター、大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大森東水辺スポーツ広場等
- ・内容：モップ掛けや飲み物の補充、練習道具の運搬、行動監視、通訳
- ・人数：138人(延べ約300人)



観光・国際ボランティア研修 (2019年)



京急蒲田駅での観光案内 (2019年)



蒲田駅東口ロータリーでの観光案内 (2019年)



競技者講習会時の通訳 (2019年)



大森スポーツセンター床クリーニング (2019年)



選手インタビューの通訳 (2019年)



ユニフォーム等仕分け作業 (2020年)



ビーチバレーボール練習サポート (2020年)



高校生ボランティア活動 (2020年)

【オリ・パラ推進事業総括③】区内開催競技ホッケーの普及・啓発

1. 概要

平成27年9月、大田区東海一丁目にある、都立大井ふ頭中央海浜公園の第二球技場を改修して、東京2020大会のホッケー競技のサブピッチとして使用することが決まった。

地元で競技が開催されることは区民が大会を身近に感じる貴重な機会となるため、ホッケーの普及・啓発に取り組み、区民の気運醸成を図った。

2. 主な取り組み

年度	取り組み事項
平成28年	さくらJAPANリオ2016大会報告来庁、ホッケー体験会（区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（2回）、トークショー（国際都市おおたフェスティバル）
平成29年	ホッケー体験会（子どもガーデンパーティー、おおたふれあいフェスタ、区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（6回）、ホッケー体験教室（4回）
平成30年	ホッケー体験会（おおたアクションデー、おおたふれあいフェスタ、区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（10回）、リーフレット・うちわ等広報PR物品制作
令和元年	ホッケー体験会（おおたアクションデー夏、おおたふれあいフェスタ等）、ホッケー応援動画制作、競技場完成式典及びテストイベント区民観戦、さくらJAPAN合宿受入れ（ゆいっつ）
令和2年	東京2020大会関連展示キャラバン（特別出張所、図書館）、日本ホッケー協会と連携協定締結
令和3年	日本代表選手紹介等展示、競技日程、まちの装飾（蒲田駅東口仮囲い）、さくらJAPAN・サムライJAPAN東京2020大会報告来庁

● 大井ホッケー競技場

平成30年1月から工事が始まり、令和元年8月には、日本やインドをはじめ大会出場国によるテストイベント「READY STEADY TOKYO」が開催された。テストイベントの目的は、組織委員会が事前に運営方法をチェックするほか、競技の魅力を広める要素があり、大田区からも日本ホッケー協会から約800名の区民や関係者が観戦に招かれた。

- ・ノースピッチ（品川区）
- ・座席数約10,000席（常設約2,600席）
- ・サウスピッチ（大田区）
- ・座席数約5,000席（常設約500席）



大井ホッケー競技場完成披露式典



東京2020大会

● 平成28年度～令和元年度

ホッケー競技の魅力を実際に体感してもらうため、区の大規模イベントでの体験会や学校と連携した体験教室を多く開催した。また、過去大会に出場した選手を招いたトークショーを行い、オリンピックとホッケーを身近に感じてもらい、大会に向けた気運を醸成した。



ホッケー体験会
（おおたふれあいフェスタ）



ホッケー教室



トークショー
（おおたアクションデー夏）

● 令和元年度～令和3年度

イベント等で集客し訴求する方法に代えて、一般の方にも認知してもらえるよう、ホッケー応援動画を制作してSNS等で放映したほか、区民が日頃から訪れると特別出張所や図書館で展示を行うなど、プロモーション活動に力を注いだ。大会期間中は、区役所本庁舎で日本代表選手の紹介、蒲田駅東口仮囲いに装飾を行った。



ホッケー応援動画



日本代表展示@本庁舎
（7月14日～8月19日）



蒲田駅東口仮囲い装飾
（7月5日～9月10日）

【参考】東京2020大会成績

- ・サムライJAPAN（男子） 予選敗退（グループA6位 1分4敗）
- ・さくらJAPAN（女子） 予選敗退（グループB6位 5敗）

【オリ・パラ推進事業総括④】東京2020大会気運醸成事業及び大会関連事業

1. 概要

区内開催競技のホッケーやパラリンピック競技への理解が深まり、区民が大会を身近に感じたり、また大会への期待感を醸成し、大会の感動が心に刻まれるように取り組んできた。大会当該年度においては、新型コロナの影響により、コミュニティライブサイトや聖火リレーなど主要な事業が中止となってしまったが、大会後のスポーツや文化の振興、共生社会への理解促進を目指し、区内の主要駅や区施設等での展示・装飾、SNS やホームページ等を活用し積極的に情報を発信するなど取り組んだ。

2. 主な取り組み

年度	主な取り組み内容	年度	主な取り組み内容
平成 27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート派遣(～令和元年) 学校:10 校、総合型地域スポーツクラブ:4回、庁内連携:8回 	令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート派遣 学校:13 校、総合型地域スポーツクラブ:20 回、庁内連携:5回 ・区イベント等における競技体験会等の実施:4回 スポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、おおたふれあいフェスタ、空の日 ・おおた活動新聞配布(区立全小中学校):2回 ・大会1年前イベント「おおたアクションデー夏 for2020」(約12,000人) ・大会 200 日前イベント「国際都市おおた 和太鼓フェスティバル」(約800人) ・その他:展示9回、ホストタウン交流事業14回 ・ホッケー応援動画、区ゆかりの選手応援動画の制作・放映
平成 28 年	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート派遣 学校:10 校、総合型地域スポーツクラブ:15 回、庁内連携:15 回 ・区イベント等における競技体験会等の実施:2回 スポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり リオ 2016 大会開催 区ゆかりの選手:パブリックビューイング、表敬訪問、区報紹介等 都主催ライブサイトに区内文化・スポーツ団体出演 ・東京都との連携:バッジ・ポスター配布、障がい者スポーツ理解促進事業 「NO LIMITS CHALLENGE」(～平成 30 年、OTA ふれあいフェスタ) ・フラッグツアー実施(成人のつどい) ・参画プログラム(～令和3年) 	令和2年	<ul style="list-style-type: none"> ・動画「おおた Fight!」「パラアスリートと支えあう人」の制作 ※公開は令和3年度 ・オリンピック1年前展示(7/16～7/30)、パラリンピック1年前展示(8/19～8/27) ・大会関連展示キャラバン(特別出張所 18 か所、図書館 15 か所) ・コミュニティライブサイト及び地域連携イベントの検討 ・聖火リレーの実施に向けた関係者調整及びボランティアの確保等
平成 29 年	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート派遣 学校:16 校 総合型地域スポーツクラブ:16 回、庁内連携:11 回 ・区イベント等における競技体験会等の実施:3回 スポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、OTA ふれあいフェスタ ・大会3年前展示(本庁舎、322 人) ・大会 1000 日前イベント「スポーツフェス in おおた」(約3,000人) ・平昌2018冬季大会展示(本庁舎、156人) 	令和3年	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおた Fight!」「パラアスリートと支えあう人」の公開(4/14～:大会 100 日前) ・区役所本庁舎などでの展示・装飾等 本庁舎の装飾及び懸垂幕の掲出 本庁舎1階での展示:ホッケー日本代表、区ゆかりの選手等 グランデュオ蒲田での大型バナー掲出・パネル展示 蒲田東口仮囲いの装飾 文化施設やスポーツ施設等における装飾・展示の実施 ・聖火リレーに関する取組 オリンピック聖火リレーボランティア(約 700 人)の募集や研修の実施 オリンピック聖火リレー点火セレモニーの参加(ランナー30 人によるトーチキス等) パラリンピック聖火リレー採火器具の製作及び種火の採火、採火式の実施等 ・「大田区×読響スペシャルコンサート」の収録・動画配信 ・区ゆかりの選手(本橋菜子選手、熨斗谷さくら選手、高田千明選手等)の情報発信 ・大会後:銀メダリスト本橋菜子選手への区民栄誉賞授与、大会出場選手の表敬訪問
平成 30 年	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート派遣 学校:13 校、総合型地域スポーツクラブ:19 回、庁内連携:4回 ・区イベント等における競技体験会等の実施:9回 スポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、OTAふれあいフェスタ、池上まつり等 ・おおた活動新聞配布(区立全小中学校):2回 ・大会 500 日前イベント「おおたアクションデーfor2020」(約2,000人) ・その他:展示9回、ホストタウン交流事業6回、ボランティアマインド学習1回 		

● トップアスリート派遣・区イベント等における競技体験会等(H27～R1)

特別出張所や学校、他部局が所管するイベントにアスリートを招へいし、競技体験会やトークショーを行った。オリンピックやパラリンピック出場選手等と直接触れ合う機会を通して、スポーツの素晴らしさを伝え、大会に向けた気運を盛り上げた。



小椋久美子氏(バドミントン)

高山樹里氏(ソフトボール)

高田千明氏(パラ陸上)、河村元美氏(ホッケー)

● 大会カウントダウンイベント等

大会3年前の本庁舎展示を皮切りに、計8回実施した。競技体験やアスリートによるトークショーを中心としたスポーツイベントのほか、大会1年前イベントは、イベント参加者に限定せず、より多くの区民に関心を持ってもらうため、蒲田駅西口駅前広場で開催した。また、大会200日前イベントは、文化プログラムを意識し、大田区太鼓連盟と連携したイベントを開催した。

No.	各節目	開催日	イベント名等	内容
1	3年前	H29.7.31~8.3	記念展示	区ゆかり選手紹介、競技用具展示等
2	1000日前	H29.10.29	アスリート大集合!スポーツフェスinおおた	競技体験会、トークショー、展示等
3	2年前	H30.7.27	ボランティアミーティング	講演会、区事業説明
4	500日前	H31.3.9	おおたアクションデーfor2020	競技体験会、トークショー、展示等
5	1年前	R1.8.4	おおたアクションデー夏for2020	競技体験会、トークショー/大蒲田まつりと連携
6	200日前	R2.2.1	国際都市おおた和太鼓フェスティバル	大田区太鼓連盟、大田区民舞踊連名と連携
7	1年前(延期)	R2.7.16~7.30	オリンピック1年前展示	テーマ「挑戦し続けるアスリート」
		R2.8.19~8.27	パラリンピック1年前展示	テーマ「パラスポーツの世界」
8	100日前	R3.4.14~9.10	本庁舎装飾	大会ルックや区ゆかり選手紹介等
		R3.4.14~	動画公開	※別途記載



畠山愛理氏(500日前イベント)



浜口京子氏等(1年前イベント)

● 大会気運醸成動画「おおた Fight!」の制作・公開(R2～)

大田区出身のアーティスト SEKAI NO OWARI の楽曲「Fight Music」を使用し、区ゆかりの4人の選手をはじめ多くの区民に出演してもらい、羽田空港や池上本門寺、商店街や銭湯などで撮影。コロナ禍で奮闘する姿を通じて、大会への前向きな気持ちを醸成し、アスリートへの応援に繋げていく動画となっており、公開から半年ほどで再生回数が約10,000回となるなど、話題となった。



【出演選手】

熨斗谷さくら選手(新体操団体)

本橋菜子選手(バスケットボール)

高田千明選手(パラ陸上・走幅跳/100m)

若生裕太選手(パラ陸上・やり投げ)

● 共生社会理解促進動画「パラアスリートと支えあう人」の制作・公開(R2～)

区ゆかりの高田千明選手と若生裕太選手が出演し、支えあう人との交流を通じて、お互いの想いを語っていただいた動画。障がいに向き合って変化していく心情や壁を乗り越えていく姿などを通じて、共生社会の理解に繋がる内容であり、教育現場での活用を促進した。



高田千明選手と布施みどりさん



若生裕太選手と新井俊樹さん

● 東京2020大会関連展示キャラバン(R2～3)

コロナ禍でイベントの開催が難しい中、特別出張所や図書館と連携し巡回展示を行い、区民の気運の維持に努めた。挑戦し続けるアスリート、パラスポーツを支える企業、区内開催競技ホッケーの3つのテーマを設定し、地域に合わせたきめ細やかな情報を発信することで、区の取組に対する認知度向上を図った。



大田図書館

● 大会100日前から大会終了後までの取組

■ 区役所本庁舎の装飾（外観及び内観）

本庁舎の外観に大会ルックや大会マスコットをあしらった華やかな装飾を行い、大会開催への期待感を高めた。また、1階正面ロビーには、区ゆかりのアスリートを紹介する装飾を行い、選手の認知度向上に努めた。【4月14日～9月10日】



本庁舎外観



本庁舎1階正面ロビー

■ 本庁舎等での懸垂幕掲示

大会に出場した白鳥勝浩選手、本橋菜子選手、熨斗谷さくら選手、高田千明選手の懸垂幕を本庁舎に掲出し、大会出場を祝い、区民の応援を促進した。また本橋選手が銀メダルを獲得した際にも懸垂幕を掲出し、功績を称えた。【7月5日～9月5日】



熨斗谷選手 懸垂幕

■ 本庁舎での展示

大会期間中、1階の展示スペースやガラス面を使用して、ホッケー日本代表選手や区ゆかりの選手を紹介し応援する展示、大田工業連合会が製作したパラリンピック聖火リレーの採火器具の展示等を行った。【4月14日～9月10日】

また、2階南側スペースでは、金澤翔子氏をはじめ、国内外の著名なアーティストが制作した東京2020公式アートポスターを展示した。【期間：8月4日～9月10日】

（オリンピックをテーマとした作品12点、パラリンピックをテーマとした作品8点）

そして、3階展示スペースでは、聖火リレートーチと1964年大会時のトーチ及び聖火ランナーのユニフォーム等を展示した。【7月8日】



ホッケー日本代表紹介
(7/14～8/19)



区ゆかりの選手紹介
(7/30～8/16)



高田選手入賞
(9/2～9/10)



(左)オリンピックトーチ
(右)パラリンピックトーチ



東京2020公式アートポスター展示



パラリンピック聖火リレー採火器具
(9/1～9/30)

■ グランデュオ蒲田での大型バナー掲出及びパネル展示

東西連絡通路のガラス面に、区ゆかりの選手を紹介する大型バナーを設置して、多くの駅利用者に印象づけたほか、同通路にて選手紹介のパネル展及びチラシの配布を行い、応援する気運を高めた。【バナー：4月14日～5月7日、パネル展示：4月14日～21日】



大型バナー(JR蒲田駅改札前)



大型バナー(東西連絡通路)



パネル展示(東西連絡通路)

■ 蒲田駅東口仮囲い装飾

JR蒲田駅東口仮囲いの壁面に、ブラジルの事前キャンプやホッケー競技の開催情報、区ゆかりの選手の装飾を行った。通行量が多い場所での大型装飾により、競技観戦や選手応援につながる情報を発信し、大会への期待感を高めた。

【7月5日～9月10日】



区ゆかりの選手

■ 大森駅周辺でのデジタルサイネージ

3か所のデジタルサイネージにおいて、ブラジル事前キャンプ、ホッケー競技、区ゆかりの選手について情報を発信した。【7月15日～8月8日】



中央改札ニューデイズ前



大森駅構内キオスク付近



大森駅構内キオスク付近

■ 文化施設における装飾と4館連携

大会開催時期にあわせて、郷土博物館と大森 海苔のふるさと館、龍子記念館、勝海舟記念館が連携して、各館の特徴を活かした企画展を行った。当事業に合わせて、大会公式デザインの横断幕を掲出し、大会との一体感を演出した。

【7月20日～9月末】



勝海舟記念館



大田区総合体育館

■ スポーツ施設における展示等

大田区総合体育館ではブラジル関連、大森スポーツセンターでは聖火リレー関連、大田スタジアムではホッケー関連の展示を行った(令和2年度から継続)。その他、区民に大会を身近に感じてもらえるよう、特別出張所や地域庁舎、大岡山駅前駐輪場、平和の森公園等に大会公式デザインをあしらった横断幕等を掲出した。

■ 「大田区×読響スペシャルコンサート」の動画配信

無観客で開催し、後日動画として配信。一流の音楽とオリンピック・パラリンピックの映像を通じて、区民一人ひとりの心が刺激されることで何かを始め、行動を変えるきっかけとなったり、また、高田千明選手や書家 金澤翔子さんの映像を通じて、障がいに対する理解を深め、共生社会の実現に寄与する内容とした。【期間:令和3年8月20日～令和4年8月19日】



コンサートの模様



高田千明選手のインタビュー



金澤翔子さんの揮毫

■ オリンピック聖火リレー

大会組織委員会及び東京都聖火リレー実行委員会が都内(島しょ部を除く)で実施する聖火リレーの公道走行を見合わせ、セレブレーション会場で点火セレモニーを開催した。区からは区長や聖火ランナーのほか、第一走者の伴走をする予定だった区内小中高校から選出されたサポートランナーも観覧者として参加した。【7月21日、品川区立しながわ中央公園】



区長挨拶



トーチキス
(田口良一さんから高田千明さんへ)



サポートランナー集合写真

東京都が点火セレモニーの様態をインターネットでライブ配信した。ミニセレブレーションに出演予定だった区内団体のステージプログラムについて映像を提供し、その動画内で放映された。

【団体】大田区太鼓連盟、大田区バトン協会、NPO法人ピボットフット



大田区太鼓連盟
ステージプログラム映像の一部

■ パラリンピック聖火リレー

東京都での公道走行が中止となったため、セレブレーション会場で点火セレモニーのみ行われた。区が推薦した、美谷島ももかさん(スポーツクライミング)とダブルダッチチーム「ROJER」が参加した。

■ パラリンピック聖火ビジット

パラリンピック聖火は全国の自治体それぞれの方法により火を起こし作られた。区では、ものづくりのまちの特徴を活かし、大田工業連合会青年部の協力のもと、各々の技術を得意とする区内8社によって、採火器具(凹面鏡と点火棒)を製作して、種火を採火した。【8月10日】 8月20日に、区長が区役所本庁舎前で、事前に採った種火を「大田区の火」とすることを宣言。同日、採火器具と「大田区の火」を本庁舎で展示した。



製作の様子



採火の様子



採火器具と「大田区の火」展示



大田区の火